

# 西 区を豊かに

新潟市西区自治協議会広報紙

2012年  
10月1日発行  
第3号

発行者  
新潟市西区自治協議会 会長 岡本 松男  
事務局  
〒950-2097  
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内  
TEL:025-264-7161 FAX:025-269-1650  
E-mail:chiki.w@city.niigata.lg.jp

ROコマークの産地  
西区の産物をたくさん詰め込んだROコマークです。新潟スイカ、赤根大根、黒埼茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せてみました。(若井)

## うちのコミュニティ

### コミュニティ中野小屋

「コミュニティ中野小屋」では、①西川の浄化への取り組み、②親子三代つれあひ会、③文化祭的催しの「瑞穂祭」をメインに活動しています。このうち親子三代つれあひ会は、敬老会を発展させ名称変更して2010年、昭和25年から続く中野小屋ならではの行事です。75才以上の方を招待し、米寿、百歳の方には記念品や色紙が贈られます。保育園児の遊戯、笠木小の樽きぬた、小瀬小のヒップホップ、中学校吹奏楽部の演奏、福祉施設や地区の活動団体による歌謡劇、日本舞踊など、日頃



の練習成果を発表する場でもあります。また、消防団員のラップ演奏が会場中に響き渡り、観客は約600名にもなります。  
(自治協委員 真嶋 民雄)



「道端の踊り子たち」

とっておきの

## 私の一枚

ペンネーム●キョングさん  
一言コメント●おどりこそう。花の盛りは5月から6月。佐潟の西岸に群生していました。

## まちづくり

### 新潟市文化財センター

過去と現在をつなぐ文化財センター  
茶豆ふれあいラインを新潟方面から南下し、木場地区に入ると古民家と大きな茶色の建物が見えるのにお気づきですか？これが新潟市文化財センター「まじぶらんポート」です。

新潟市文化財センターでは、新潟市内の遺跡から出土した土器や武器のほか、新潟市指定文化財である「旧武田家住宅（黒埼地区の民具を大切にしたい）」が展示されています。また、小さなお子様でも文化財に親しんでいただけるよう、体験コーナーを常設開設しています。特に5月10日(土)10時～12時(入場無料)は、親子で楽しめるイベントを開催いたします。

その他にも、歴史講座や旧武田家住宅を活用した昔のイベントなどを随時行っております。ぜひ、味のお越しをお待ちしております。



新潟市文化財センター



- 1 配布がいつも発行日から1ヶ月以上経過し催事が間に合わないことが多いです。
- 2 区民の防災意識を高めるため、提言だけでなく無難な自治会へ説明に出向くのは如何でしょうか。
- 3 佐潟の湖水再生重要書概要の内容が具体的に在り、保全施策の全てを市当局に丸投げしてしまっているのでは。

## 広報紙第2号への意見

7月1日に発行した「西区を豊かに」の第2号について、区民の皆さまからの意見を頂きました。また、第3号の発行です。

## 募集

広報紙や自治協議会活動についてのご意見(今回は特に2～3ページへのご意見・ご感想も)

- 送付先/住所: 氏名、連絡先をお書き添えの上、広報紙一面の事務局へ送付をお願いします。郵送または電子メールにてお願ひします。

## とっておきの私の一枚

- あなたの「自慢の写真」(家族、ペット、風景、イベント等)に住所・氏名(氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載・連絡先・写真タイトル)を三つ折りに添えてご応募ください。電子メール可。採用者には千円の図書カードを贈呈。応募された写真は返却しません。締め切り11月末日(次号掲載予定)送付先/広報紙一面の事務局へ

## 編集後記

今回は一面に西区の三大農業まつりを載せました。もちろん10月20日のだいこんまつり(新米・ねぎ・大根の収穫祭)にも参加します。もっと多くの方々が参加していただけるよう、自治協でもいろいろ検討していきます。(斎藤)

三大農業まつり  
西区役所・JA 共催  
7月 すいかまつり  
8月 茶豆まつり (黒埼まつりの一部として開催)  
10月 だいこんまつり (新米・ねぎ・大根の収穫祭)

今年度の農業まつりの様子  
すいかまつりで出店者側としてお手伝い  
今年度の農業まつりの様子



豆詰め放題  
発見!  
山中:では早速、詰め放題に挑戦したいと思

山中:今日が斎藤さんと二人で黒埼まつり、茶豆まつりの会場に来てみました。  
斎藤:インターネットなども交えながら私たちの楽しみ方を深めていきたいと思います。(歩いていく途中で)くさくさ茶



茶豆まつりに行ってみたい

山中:今日が斎藤さんと二人で黒埼まつり、茶豆まつりの会場に来てみました。  
斎藤:インターネットなども交えながら私たちの楽しみ方を深めていきたいと思います。(歩いていく途中で)くさくさ茶

思ったより詰めることができました。ビニール袋が小さいので伸ばしながら上手に詰めることがポイントだと思います。いやーこの量で1000円はお買い得だなあ...



山際さん:地元祭だから、本当に大切なことは区民のため祭を区民自身が行うべきです。やっぱ住んでいる人が運営を頑張らないと、来場者から楽しんでもらえないのでは。茶豆まつりは生産者の方をはじめ、多くの方に協力いただいています。ありがたい限りです。

山際さん:地元祭だから、本当に大切なことは区民のため祭を区民自身が行うべきです。やっぱ住んでいる人が運営を頑張らないと、来場者から楽しんでもらえないのでは。茶豆まつりは生産者の方をはじめ、多くの方に協力いただいています。ありがたい限りです。

山際さん:地元祭だから、本当に大切なことは区民のため祭を区民自身が行うべきです。やっぱ住んでいる人が運営を頑張らないと、来場者から楽しんでもらえないのでは。茶豆まつりは生産者の方をはじめ、多くの方に協力いただいています。ありがたい限りです。

# ～「見守り支援」を進めるために～ 「孤独死ゼロ作戦」

## から学ぶ地域の取り組み



西区自治協議会主催の「西区ささえ合い講演会」見守り支援を進めるために」が8月4日(土)、黒崎市民会館で開催され、西区を中心に160名の参加者で盛り上がりました。今、マンモスでもよく報道される孤独死をなくす取り組みで全国的に有名な中沢卓実氏(千葉県松戸市常盤平団地自治会長、約5,400世帯)の講演「孤独死ゼロ作戦」から学ぶ地域の取り組み」の概要を紹介し

### 孤独死の実態

孤独死はある程度の期間経過後に発見されることがほとんどです。そして、そのときの遺体の状況は悲惨なものです。特に、男性の孤独死は、例

外なく部屋の中はごみの山で強烈な臭いは取れませんから、発見が遅れると家屋としての機能が果たせません。

孤独死の状況になると、警察が必ず検死をし、事件性がなければ調べず、事件性が無いと警察は遺体の引き取りを身内に連絡するのですが、たいてい引き取りを拒否するそ



情熱をこめて話す講師

### 孤独死にみる 共通の生活習慣

孤独死された人たちには、共通の生活パターンがあります。それは、あいさつしない。友だちがいない。身寄りや連絡を取らない。地域の催し物に参加しない。人は人、自分は自分と考えている。男性だと料理ができない。ごみ出しができない。アルコールをやめない。

このような「ないない尽くし」の生活習慣であるということがわかってきました。また、孤独死の約7割～8割が男性で、男性の孤独死が圧倒的に多いのです。そして男性

### あいさつは 幸せづくりの第一歩

孤独死問題を通して、地域であいさつをしていないというところがわかってきました。「あいさつを盛っていい」といって、あいさつの推進標語を皆さんが募集し、約250本寄せられ、市長賞も決めました。

このように住民から呼んで住民の意向を吸い上げて、住民に返していきました。また、

別表のよくな「常盤平団地地域の合い言葉」(左表)をまとめて、呼びかけました。

**常盤平団地  
地域の合い言葉**

1. あいさつは 幸せづくりの第一歩
2. みんなで創る 「向こう三軒両隣」
3. 友は宝なり

### 孤独死を発生させる 社会背景

私も常盤平団地自治会は「孤独死ゼロ作戦」(下表)を作りました。

孤独死を発生させる背景の一つとして、高齢化が進み、一人暮らしが増えていることがあげられます。

この一人暮らしの増加の背景の一つに、家族の在り方が大きく変わっていることがあげられます。大家族の形態が減り、子ども数も少なくなっています。

それから、2番目には、都市化に伴い、近隣関係が希薄になっている。30年前に大団人ができて、約30年間、隣の人が話もしたことがなかったという人が結構いるのだそう

です。定年になってから地域と関わらなくなって、地域のことがほとんどわからないという状況はどこでも起きています。

### 孤独死をきっかけに 「絆」を考える

今でも「絆」という言葉で表されているように、人々

### 「3」社会の地域で 女性の力を結集させる

なぜ女性の孤独死が少ないのか分析してみます。女性というのは、子どもを生む・育てる、教育をします。子どもを通しての親同士のつながりがたくさんあります。中には親友も出てきます。料理・洗濯・整理整頓はお得意です。買い物・ごみ出しもできます。だから、女性の孤独死はほとんど部屋の中は整理されています。

そして、私の50年間の地域活動の経験から申し上げます。一層間の地域は女性が主役なのです。女性が持っている強さを、地域の活動家としてどうやって結集できるか。このことによって地域力の違いが出てきます。防災・防犯でも、地域のまわりでも、自主会活動全般にわたって女性の力を結集することで、地域はいつかの希望の道が出てきます。

### 自分たちの力を 盛り上げるために

まちの発展はすべて地域がキーワードです。自分たちの地域を新しい時代に合わせ、いい方向に向かって努力を。見守り活動、地域は支え合っ

### 孤独死ゼロ作戦の取り組み

1. 孤独死110番通報
2. 毎年「孤独死を考えるシンポジウム」を開催
3. 新聞販売店、カギ専門店と協定
4. 「あんしん登録カード」の呼びかけ
5. 「まつど孤独死予防センター」設立
6. 行政へ要請「孤独死データ作成」
7. 宣伝活動を重視
8. 「いきいきサロン」の開設など

人との関わりが非常に希薄になってきています。

今から10年前、私たちの常盤平団地で59歳の男性が孤独死で発見されました。この場合、ある程度の預金があつて、銀行の自動引き落としで家賃が払われていたため、3年間も発見できませんでした。それから、今度は50代の男性がこれたつに伏せて亡くなっていました。別居をしている奥さんから「うちの旦那は料理ができませんでした。だから、こたつの周りにカッパレーンがたたくさんあつた」と言っていました。お酒のカップもありました。

この2つの孤独死から、私は地域ぐるみでこの孤独死問題の対応をしよつじやないかと

ていくのが基本です。この関係をどうやって地域の中でつくるか。それは、反対する人をどうやって納得させるかにかかっています。そのためには難しいことをやらないで、みんなで努力をする。努力に勝る特効薬はありません。このことは私が50年間の地域活動の中で、本当に心してかかっているテーマです。こつやって地域の在り方を原理・原則に立ち返って考えてみる。自治会長さんや、あるいは民生委員の皆さん、どうやってみんなで協力し合っていく関係をつくるか。

会長さんがこれをやりたいと言ったら、みんなで協力して前に進むことが大事なのです。ケチをつけるのは簡単です。わからない人にわからせる努力をする。それは地域ぐるみしかありません。

## 自治協が除雪対策で 市に要望

自治協第1部会(担当分野:防災・防犯・環境)で検討してきた除雪対策の要望を自治協として新潟市に提出しました。



区民との協働による除雪対策推進に向けた要望書(概要)

新潟市は3年連続の大雪に見舞われ、市民生活にとって大きな支障となっております。特に西区特有の問題として、坂道や狭路・袋小路などの生活道路が多く、道路除雪が困難な場所を多く抱えており、早急に今後の降雪に対応できる除雪対策を講じる必要があります。

それには、地域住民と行政の協働による除雪体制を強化することが第一と考えたことから、下記のとおり要望を取りまとめましたので、ご配慮いただきますようお願いいたします。

記

- 前年度の除雪対策を踏まえ、今年度以降除雪対策の充実を図るための手厚い予算配分を行うこと。
- 西区の狹隘道路等への対応や、除雪業者の不足解消のために、農家組合などのタイアップによる農耕用トラクターを活用した除雪路線の拡大、除雪業者の配置見直しによる除雪路線の整理と効率化を進めること。
- 通学路及び高齢者等の生活道路の除雪支援体制として、地域住民による除雪協力組織の構築・育成と補助金等による活動支援、地域による見守りや組織支援体制との連携を図ること。
- コミュニティ除雪を一層推進するため、貸与機械の大幅な拡充や、除雪機械の購入助成制度を創設すること。
- 市道や私道の除雪を効率的に行うため、公共用地における排雪場所を多く確保すること。また、点在する民間空き地などを一時的な排雪場所として活用できるよう、冬期間の排雪借用地の条件整備を速やかに行うとともに、関係する自治会と連携して私有地の借用を図ること。

平成24年9月11日  
新潟市長 藤田 昭 様

新潟市西区自治協議会 会長 岡本 松男



会場は160名の参加者でいっぱい